

第4回 小鹿野町役場庁舎検討委員会（要点筆記）

日 時	平成29年3月23日(木)	開会	午後1時30分
		閉会	午後3時10分
会 場	小鹿野庁舎 第1会議室		
出席者	丸山陽生 佐藤恭平 原口悟志 井上要作 山崎勉 吉田恭典 黒沢裕幸		
	笠原憲一 柴崎好一 坂本好司 多比良キヨ子 町田考子 嶋田静江		
	丸岡庸一郎 黒沢一男		
	(事務局 黒澤総務課長、須藤)		
傍聴者	新井富士男		

内 容	
発言者	発言の要旨
	(開会のあいさつ)
総務課長	本日欠席者が4名おります。
丸山委員長	議題(1)第3回会議の要旨について 委員から意見はありますか、意見がないようなので前回の会議の議事録といたします。
黒沢一男委員	会議の進行の方向性が感じられない。方向性のある委員会にしたい。
丸山委員長	今日の資料の説明をお願いします。
	事務局より資料の説明
丸山委員長	議題(2)庁舎のあり方について
黒沢裕幸委員	この資料(猪野武雄議員の作成した資料)を見た方がいると思いますが、庁舎のあり方について書いてある。3月の議会で庁舎検討委員会について質問をしたのですか、ほかにも議会で質問があったのか。
総務課長	2名の議員から委員会の進捗状況はどうなっているのかという質問がありました。1回目は委員長を決めました。2回目は庁舎の視察をし、3回目から委員に意見を述べてもらっていますと説明。特に議員からはこういう使い方はどうかという質問はありませんでした。
黒沢裕幸委員	3月定例会では突っ込んだ質問はなかったのですか。
総務課長	そうです、例えば、空き校舎を使ったらどうかという質問はありませんでした。空き校舎、空き施設はどうするのかという質問は2名くらい質問がありました。それについては、教育委員会が目的を考えています。個別計画を8月頃までに出してもらおうことになっています。今はまだ、具体的には出ていませんと説明した。
丸山委員長	空き施設について、教育委員会で検討しているということだが、庁舎検討委員会としては一つの案こだわらないでいくつかの案を提案すればよいのではないか。また、検討委員会の答申は町の政策に取り入れられると考えています。
総務課長	今、担当課が空き施設について考えています、それは担当課の考えであり、その上に政策的なものとして町として考えていくことになります。町として空き施設を考えるのは、政策的なもので教育委員会の上位の考え方となります。そちらが優先的になると思います。
丸山委員長	今までの委員会で、委員の考え方が出し尽くせられていません。庁舎をどのようにしたらよいか、意見を出してほしい。

多比良委員	<p>条例の中に、庁舎の機能・規模という言葉があるからそれを議題にしたのか。また役場庁舎の整備に関することという言葉もある。町長のあいさつは耐震補強しても耐えられないのでどうかしてくれということだと思う。</p> <p>新築なのか、既存の施設を使うのか、修理なのかそれしかないものでどれかに決めたほうがよい。委員長が委員にどうしたらいいのかというのを聞けば、この条例が生きてくると思う。そうすれば、町長のあいさつと条例があってくる。</p>
総務課長	機能・規模と言っても、まだ方向性が取れない段階なので、まず方向性を出せばよいと思う。
丸山委員長	<p>建て直す方向一本で行くのかよりも、建て直す場合はどこにするのか。もう1つは建て替えずに今の施設の再利用はどこを使うのかということから進めたらどうか。</p> <p>小鹿野庁舎の補強は無理なので建て替えか今の施設を使って移転か、2つくらいに絞って詰めていくことが良いと思うがどうですか。</p>
黒沢一男委員	この庁舎で仕事をしている職員が状況をよく知っている。職員はどのような庁舎になってほしいとか、町民からは使い勝手が悪いとかそういう声が出るんじゃないかと思う。町長にはこの会議に出席してもらいたい。
総務課長	町長はこの会に方向性を出してほしいと考えている。この会で考えをまとめてほしい。
多比良委員	第1回の議事録を見ると、この会である程度の方向性を出して町長の判断の選択肢とするといっている。この会は方向性を出せばよい。
原口委員	<p>今のところは決めつける形でなく、どういう流れでいくかという形でよい。最終的に意見が2つ出れば、2本で行きましょうということでもよい。町長から委嘱を受けているので、町長を呼ぶ必要はない、我々の考えをまとめればよい。</p> <p>資料を見ると、皆野町、長瀬町は人口に大差がない、小鹿野は合併特例債があるが、前回の会議で人口が8000人くらいになると説明があった。この庁舎の中で仕事をやってもらうのはかわいそうだ。1つの庁舎の中で仕事をやってもらいたい。</p> <p>空いた中学校の案もあるが、皆野町も長瀬町も校舎を使っていたことを知っている。使いづらい感じを受けた。新しいものを作るのが望ましい。</p>
町田委員	新しく建てる必要はなく、三田川中学校を再利用したほうが良い。小鹿野中学校はテニスコートに校舎を増築してグラウンドがせまくなった、庁舎を更地にしてテニスコートを作ったらどうか。
坂本委員	<p>人口が推移することを考えないといけない。高齢者が多くなった。まずは、庁舎を一か所に置いたほうが良い。一方では、町民の夢や目標をかなえたい、まとまったところに1つを置いてつながりを作る。</p> <p>空き校舎を使ったらどうかというのはこれからのこと、大きなものを作らなくても、住民が維持できるようなものであればよい。</p>
笠原副委員長	<p>三田川には体育施設ができており、いっぺんに大きな大会をやると駐車場が足りなくなる。にぎやかな町にするには、町の中心に庁舎があったほうがよい。</p> <p>若い人が使う庁舎が必要、大きくなくてもよい。庁舎の建設は今でなければできない。建て替えて職員も安心して入れる庁舎が良い。</p> <p>三田川中学校、長若中学校に移っても何年か後には建て替えなければいけない。</p>
嶋田委員	老朽化した庁舎を建て替えたほうが良い。悪いところを色々直してもお金がかかる。
黒沢一男委員	<p>人口が8000人くらいになるというが、今は使えるものを使えばよい。良い庁舎を作ればよい町民になるというものではない。いつ壊れるか心配だというような緊急性があれば別だが、人口が減っていくという中で、特例債があるからと言って敢えて投資して作るのは考え違いだと思う。</p> <p>今一番大事なことは町民の意思を集中することだ。町の将来を検討する会を作るべきだ。</p>
柴崎委員	検討委員になる前に役場の位置を考えてみたことがある。合併して町が広がって三田川が良いと思ったが、校舎が3校の中で一番古いということで役場として使えるようになるのにいくらお金がかかるのか心配になった。
黒沢裕幸委員	<p>三田川中学校の耐用年数が19年あるというが、20年後には人口も減ってくる。</p> <p>現在、個人の家であんぼ柿を作っているがそれは無理だ。それを役場庁舎の横に施設を作りそこで製造する。町の産業の発展や遊休農地の利用にもなる。作るなら三田川中学校を考えていくべきだと思う。</p>
吉田委員	現実を見ると今あるものを使ったほうが良い。19年たてば人口も減ってくる、19年という耐用年数は長いと思う。

山崎委員	<p>何回も言っているが、ログハウスの庁舎を作りたい。なぜ、ログハウスなのか。倉尾、三田川、両神には道路沿いに杉の木がたくさんある。それを切り、皮をむき、みんなで庁舎を作る。</p> <p>そのお金はどうするのか。働いた人にバンビ券をあげて、町で使えるようなお金として払う。地主にもお金が入る、商店街は利益になる。そうなれば町もきれいになり、商店街も元気になる町にも税金も入ってくる。町の発展に良い機会だ。</p> <p>作るのには長い5か年計画でもよい、少しずつ作る。大きな建物でなくてよい。高齢者や定年退職した人も働いてもらい、間伐材を使って町を元気にしたい。住民と一緒に庁舎を作る。</p>
井上委員	三田川中学校が良いと思っていたが、耐用年数を見た結果、新築が良い。
原口委員	<p>新築が良い。短期間に使うのであれば、三田川中学校でも我慢できると思うが、長く使うと不都合が出てくると思う。</p> <p>新築するならワンフロアが良い、少なくとも2階まで。安心して働いてもらえる、住民が行きやすい庁舎を作ってもらいたい。</p>
佐藤委員	新築が良い。三田川中学校は20年くらいしか耐用年数がない、50年後を考えた中で使える庁舎がよい。
丸山委員長	町長の諮問の中に、この庁舎は耐震性の数値が低いとあった。この庁舎を耐震補強することは考えないで行きたいがどうですか。
黒沢一男委員	委員長の提案でなくて、委員からの意見でないとおかしい。
丸山委員長	庁舎の新築か、既存施設の利用かの意見が出てきたのでその2つで考えたいがどうですか。
黒沢一男委員	2つの意見というが、私の意見はどうなるのか、今は庁舎のことよりも違うことをやっていきながら、庁舎はおいおい考えていけば良い。
笠原副委員長	委員から意見がでた、新しく建てるのと再利用の2つでよいのではないか。
黒沢裕幸委員	三田川中学校の耐用年数が6年の古い校舎を壊して新しく作るとどれくらい費用がかかるのか、新しいものをつくるとしたら、壊したところに新しいものを作るという考え方もあると思う。
笠原副委員長	新築するとしたらどういうものがあるのか、再利用するとしたら三田川中学校という意見が多ければ三田川中学校でよいのではないのか。
多比良委員	そうすれば、条例にある機能・規模という言葉とあってくる。
丸山委員長	皆さんから出してもらった意見で、小鹿野庁舎は使わないということで、新築か再利用かで2つで詰めていきたいがどうですか。
嶋田委員	三田川中学校の延床面積が293㎡とあり、前の資料に1435㎡とあるが。
総務課長	三田川中学校は建築した年が違う、2186㎡の校舎と293㎡の校舎を合わせて三田川中学校と呼んでいます。耐用年数が6年とあるが、これは補助金の関係での年数です、平成23年に改修しているので耐震性はあります。
丸山委員長	皆さんから意見が出たので、2通りの中から細かく詰めていくことで今日の会議は終了でよろしいですか。
山崎委員	新築なのか再利用なのか方向性を決めてもらいたい。次回はこちらをやるのか、みんな一緒にやるのか
丸山委員長	2つを検討するということが、分けてやるという意見がでた。
黒沢一男委員	検討委員会は全部を検討することだ。新築と改築と私の意見と3つの意見が出ている。私の意見も検討してほしい。
丸山委員長	庁舎をどういう風にするのかという会なので、建て替えか再利用か決めないと進まない。
原口委員	今の庁舎には手を加えないということで進めるのか。
丸山委員長	今の庁舎には手を加えないということで賛成の方は拍手をお願いします。
	拍手多数あり
丸山委員長	2つの方向で進めます。次回はこまかく詰めていきたい。本日の会議を終了します。